



【ユネスコエコパークのイメージ図】

保護を主とする「核心地域」  
写真は光岳(てかりだけ)2,591m  
南アルプス最南端に位置する

this month  
HighLight  
3  
今月の注目

自然との共生を考え、山麓の暮らしに誇りを持ち、貴重な資源を後世に引き継ぐために

# 南アルプスのユネスコエコパーク登録を目指しています！

ユネスコエコパークが目指すもの。それは「地域の自然と文化を守りながら地域社会の発展を目指す」こと。静岡市をはじめとする関係自治体と協力して、南アルプスの登録に取り組んでいます。

## ユネスコエコパークとは

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が、人間と自然との共生を目指すため、1971年に発足させた「人間と生物圏計画」の中心となる事業のことを指します。

ユネスコエコパークは、自然と文化に根ざした地域発展のためのユネスコのプログラムです。地域の自然や文化、伝統産業の価値、優れた自然を活かした地域振興や教育に資する活動が評価されます。正式には「生物圏保存地域」と言いますが、日本では「ユネスコエコパーク」と呼ばれています。

## ユネスコエコパークの機能

エコパーク地域では、▽保護を主とする「核心地域」、▽教育や研修、レジャー等へ活用する「緩衝地帯」、▽地域の社会発展・経済活動を担う「移行地域」の3つの地域に区分し、保全と利用の両立が図られます。（イメージ図①参照）

また、果たさなければならぬ役割として、▽保全機能（自然を守る）、▽経済と社会の発展（自然を利用する）、▽学術的支援（科学的な調査を支援）の3つの機能があります。

## 3県10市町村で登録を目指す

- 静岡県をはじめ、山梨県と長野県で協力し、取り組んでいます。
- ▼静岡県（静岡市、川根本町）
- ▼山梨県（韮崎市、南アルプス市、北杜市、早川町）
- ▼長野県（飯田市、伊那市、富士見町、大鹿村）

## ユネスコエコパークの魅力

エコパークは、自然と共生する社会を目指す114カ国が参画する世界的な取組みであり、地域が国際的に評価され、地域の観光、特産品、研究などが世界的に紹介され世界のネットワークを通じて、各国のエコパークとの交流、情報交換を行っていくことが期待されています。

地場産業などは「エコパークブランド」として商品価値が高まり、企業などは環境に配慮した持続的な経営方針を高め、評価を受けることができます。教育活動や観光振興の分野でも集客が期待できます。

国内では志賀高原や屋久島など、5カ所が登録されています。本町でも関係自治体と協力して、自然保護と経済発展が両立できる仕組みづくりを目指します。

【問】商工観光課商工交流室  
☎0547(58)7077





笛・太鼓が響き渡り、勇壮な鹿ん舞  
華麗なヒーヤイが観客を魅了した。



地域的特色に富んだ、後世に継承すべき貴重な伝統芸能

## 国指定重要無形民俗文化財 「徳山の盆踊」を盛大に奉納

徳山古典芸能保存会は8月15日、「ヒーヤイ」と「狂言」を交互に演じ、その合間に「鹿ん舞」が舞台の周囲で演じられる「徳山の盆踊」を浅間神社で奉納した。徳山の夜は、町民をはじめとする多くの観光客でにぎわった。

### 徳山地区の夏の風物詩

「徳山の盆踊」は昭和63年に国から重要無形民俗文化財として指定を受けました。「踊りの形態は、古歌舞伎の初期の仕組みを伝承するもので、これに動物仮装の風流が添えられているなど、地域的特色にも富んでおり重要である」と高い評価を受け、毎年8月15日に奉納されている、徳山地区の夏の風物詩です。

### 祭典のスタートを虹が祝福

8月15日の午後3時頃まで、雨が降ったりやんだり、あいにくの雨模様でしたが、雨上がりの空に虹が架かり、盆踊りの開催を祝福したかのようでした。午後5時、徳山コミュニティ防災センターでは神事が執り行われ、鹿ん舞の舞い手を先頭に道行きがスタートしました。

愛宕<sup>あたご</sup>地蔵堂ではヒーヤイが披露され、約1時間を掛けて浅間神社に到着しました。

### 貴重な伝統芸能を継承するため

徳山地区では、この貴重な伝統芸能を後世に継承するため、少子高齢化が進む中、稽古に励み、担い手を養成しています。伝統芸能を継承していくために

は、指導者や裏方の努力も欠かせません。関係者の努力の成果が祭典当日に披露されます。「徳山の盆踊」は、町外のファンも多く、テレビ局も長期取材を行うなど、浅間神社境内は町民と心待ちにしていたファンで大盛況でした。



▲未来の担い手である小さな子どもたちも、鹿ん舞の後方で、一緒に舞った。  
▶出立式神事で、ヒーヤイを披露する小中学生の女子。

